

2022年1月29日 岡崎バイブルスタディ
メッセージ「愛しか語らないキリスト教の危険性」 岩金牧男

イントロダクション

1 コリ 15:3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。

キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、

1 コリ 15:4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、

1 コリ 15:5 また、ケファに現れ、それから十二弟子に現れたことです。

(1)「使徒の働き」学びの2年間、違和感があった

①12使徒やパウロ達が、イエスを伝えた記録

(2)現代の教会で多く語られる、「あの」メッセージがない驚き

①「神は愛です。あなたは愛されています」というメッセージが全くない

・ユダヤ人へのメッセージ例

使徒 2:38 そこで、ペテロは彼らに言った。「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。

・異邦人へのメッセージ例

使徒 17:29 そのように私たちは神の子孫ですから、神である方を金や銀や石、人間の技術や考えで造ったものと同じであると、考えるべきではありません。

使徒 17:30 神はそのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今はどこでも、すべての人に悔い改めを命じておられます。

②ユダヤ人にも異邦人にも、悔い改めを命じている

(3)未信者に対する「神から愛されている」のメッセージの出所はどこから？

(4)メッセージのアウトライン

①確認その1 救いとは何か？

②確認その2 神の属性と人間の性質の対比

③教会成長論

④エスカレートする人間中心の福音

⑤エスカレートする指導者層

⑥非はどこにあるか？

⑦結論

1. 救いとは何か？ (確認その1)

(1)「救われた」 一体何から救われたのか？

①・「罪」から ・「滅び」から ・「サタン」の支配から

ロマ 5:9 ですから、今、キリストの血によって義と認められた私たちが、この方によって**神の怒り**から救われるのは、なおいっそう確かなことです。

②救いとは「神の怒り」からの救い、神は罪人に対して怒っている

- ・未信者に「あなたは神に愛されている」は、伝えるべき内容と反対
- ・救いとは、「神」(イエスの死)によって「神」(神の怒り)から救われること
- ・同じ神が、悔い改めた罪人を救い、罪の中にいる罪人を滅ぼす

マタイ 10:28 からだを殺しても、たましいを殺せない者たちを恐れてはいけません。むしろ、たましいもからだもゲヘナで滅ぼすことができる方を恐れなさい。

・今日の信者の弱点:地獄の認識の弱さ

(2)「怒る神、裁く神は受け入れがたい…」という思い(不満)

①「神が愛なら、誰も地獄に送らないはずだ」という主張

2.神の属性と人間の性質の対比(確認その2)

(1)神の主な属性:全知、全能、永遠、聖、愛、義、遍在、主権、怒り、ねたみ、復讐、のろい…

出エ 34:14 あなたは、ほかの神を拝んではならない。【主】は、その名がねたみであり、ねたみの神であるから。

他参考箇所 ナホム 1:2、申命 28:20

①神の属性の中で「愛」だけを特に強調することは奇妙、神の全属性を意識すべき

(2)しかし、怒りや、ねたみ、復讐、のろいは悪・罪であり、避けるべき?

エペソ 4:31 無慈悲、憤り、怒り、怒号、ののしりなどを、一切の悪意とともに、すべて捨て去りなさい。

①人間の怒りは悪、神の怒りは義

(3) 神の属性と人間の性質の違い

①神:全属性が100%成立、完全な怒りと完全な愛、愛のために義をおろそかにしない

②人間:中途半端、自己中心的、感情的

・次の御言葉は人間に対するもの、人間は愛だけが残ればいい

1 コリ 13:13 こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。

(4)人間の愛を基準にして神の愛を考えてはいけない

①人間の愛を神に投影し、聖書の神でない空想の神を作り出すことは、偶像礼拝

②愛である父なる神は神の子達を、「病気にしない」、「地獄に送らない」など

③「神の愛」を低く評価したり、否定しているのではない

3.教会成長論

(1)ドナルド・A・マクギャヴラン(1897~1990年)が、1961年に教会成長研究所設立

①引き継いだのがピーター・ワグナー(1930~2016年) 米フラー神学校教授

(2)教会成長論とは

①教会成長論の目指す2つの成長

・地域教会の数を増加成長

- ・同時に各地域教会の信者数の増加成長
- ②資本主義の影響、企業経営やマーケティングと同じアプローチ
 - ・各教会、各指導者はマイ・チャーチの拡大成長に没頭
 - ・急成長の教会への高い評価、称賛の的、TV放送、書籍、インターネット
 - ・メガチャーチ(信徒2千人以上)の数は1960年十数教会、現在1700教会
 - ・メガチャーチへ信者の集中や移動、地域教会の数は減少や衰退
- (3)メガチャーチの多くは罪・裁き・悔い改め・神の怒り・地獄などを語らなくなった
 - ①聴衆が嫌がる話はしない。
 - ・語るのは「あなたは愛されている、そのままがいい」
 - ・神の愛、祝福、富、健康、成功など心地よいメッセージ(未信者にも信者にも)
 - ②繁栄の神学(ジョエル・オスティーン、ビル・ジョンソン、ジョイス・マイヤーなど)
 - ・日本の信者や教会にも大きな影響
- (4)問題点:認罪のない救済、本当の救いか?
 - ①アメリカ、繁栄の神学のメガチャーチの代表的な信徒像
 - ・イエス様大好き、信じればいいことばかり、積極的伝道、信徒数増加
 - ・信じる福音は「イエスは死ぬほどまでにあなたを愛した、その愛に応えよう」
 - ・イエスを信じ信仰告白、受洗、ボーンアゲイン宣言、しかし贖罪の理解なし
 - ②福音の三要素
 - 1.キリストが、**私たちの罪のために**死なれたこと
 - 2.キリストが、葬られたこと
 - 3.キリストが、三日目によみがえられたこと

間違った福音は「1.キリストが、**私たちを愛し**死なれたこと」となる
 - ③神の目から見て救われていない、自称クリスチャンが多数発生
 - ・自分では神から愛されていると思っているが、実際は神の怒りの対象
 - ・信徒の魂の救いには関心はないが、信徒の頭数に関心を持つメガチャーチ
 - ④愛しか語らないキリスト教の行き着くところ
 - ・セカンドチャンス論(例:大和カルバリーチャペル 大川従道と三浦春馬)
 - ・普遍救済主義
 - ・地獄の否定

4.エスカレートする人間中心の福音

(1)「あなたは愛されている」は更にエスカレート

①「あなたは素晴らしい、価値がある、神の最高傑作」へ変化

イザヤ 43:4 わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。だから、わたしは人をあなたの代わりにし、国民をあなたのいのちの代わりにする。

②イスラエルへの神の言葉、普遍的真理なら新約から聖句を引用すべき

③人間の価値の変化

- ・聖書:イエスがあなたの代わりに死んだので、あなたには価値がある
- ・エスカレート:あなたに価値があるので、イエスはあなたのために死んだ

(2)メガチャーチの影響による人間中心主義は、地球規模で波及

- ①教えに潜む危険性:人気牧師のメッセージが世界中に浸透
- ②賛美に潜む危険性:高品質な賛美で世界中に波及、歌詞に問題
 - ・ヒルソング、バテルミュージック、ジーザスカルチャーなど

マタイ 15:7 偽善者たちよ、イザヤはあなたがたについて見事に預言しています。

マタイ 15:8 『この民は口先でわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。』

マタイ 15:9 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、教えとして教えるのだから。』

- ③聖書の教えか、聖書を利用した別の教えかを慎重に吟味する必要

(3)症状:現代のキリスト教のこの病は程度の差こそあれ、クリスチャン全員が感染している

- ①偏愛症候群:神の愛に特にフォーカスを当てる傾向

- ・某教会賛美(339曲中)に登場する回数と、聖書に登場する節の数

言葉	賛美曲	聖書全体	詩篇
愛	103 曲	572 節	49 節
聖	36 曲	1062 節	69 節
義	12 曲	487 節	90 節
怒	2 曲	466 節	49 節

- ②承認欲求:人間の「愛してほしい、認めてほしい」の欲求を満たしてくれる神

- ・人間中心、人間が主人公で神が脇役やしもべ
- ・人間と神を延長線上に見る、人間を高め神を引き下げる
- ・神は、ドラえもんか、アラジンのジーニー、「あしあと(Footprints)」の神概念

5.エスカレートする指導者層

(1)神はメガチャーチの牧師を通して(新しい啓示を)語る

- ①古い言葉(聖書)より新鮮で分かりやすい、聖書研究をしない信徒
- ②聖書を引き下げ指導者を引き上げる、神と信徒の間に介在し存在価値を高める

(2)体験主義:聖書と同等、あるいは聖書以上に、指導者の体験に価値を置く

- ①奇跡(しるしや不思議)、預言(予言)
- ②イエスが現れ私に語った

(3)聖書を利用したとしても、聖書の真理から離れたら背教

マタイ 7:22 その日には多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』

マタイ 7:23 しかし、わたしはそのとき、彼らにはっきりと言います。『わたしはおまえたちを全く知らない。不法を行う者たち、わたしから離れて行け。』

(4)回復した使徒や預言者を自称(自称使徒、自称預言者)

- ①特権の維持のため、お互いを承認する(新使徒的宗教改革:NAR)

6.非はどこにあるか？

(1)神の前に立つ時、言い訳できるのか？

①「私はメガチャーチの信徒、牧師の言葉を信じただけ」は神への言い訳として有効か？

②指導者も信徒も滅びる

2 テモテ 4:3 というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好みにしたがって自分たちのために教師を寄せ集め、

2 テモテ 4:4 真理から耳を背け、作り話にそれて行くような時代になるからです。

(2)背後で全てを操っているサタン:教会にとって最も恐ろしいこと

(3)教会は内部から崩壊している

結論

(1)説教「怒れる神の御手の中にある罪人」 1741年(280年前) 牧師ジョナサン・エドワーズ

(2)現代の教会に対するイエスの言葉

黙示 3:14 また、ラオディキアにある教会の御使いに書き送れ。『アーメンである方、確かに真実な証人、神による創造の源である方がこう言われる——。

黙示 3:15 わたしはあなたの行いを知っている。あなたは冷たくもなく、熱くもない。むしろ、冷たいか熱いかであってほしい。

黙示 3:16 そのように、あなたは生ぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしは口からあなたを吐き出す。

黙示 3:17 あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、足りないものは何もないと言っているが、実はみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸であることが分かっていない。

黙示 3:18 わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買い、あなたの裸の恥をあらわにしないために着る白い衣を買い、目が見えるようになるために目に塗る目薬を買いなさい。

黙示 3:19 わたしは愛する者をみな、叱ったり懲らしめたりする。だから熱心になって悔い改めなさい。

黙示 3:20 見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。

① アーノルド・フルクテンバウム博士『The Footsteps of the Messiah』による区分

・「熱い」は救われた者

・「冷たい」は救われていない者

・「生ぬるい」はイエスを信じていると言うが、救われていない者

②7つの教会の最後に登場するラオディキア教会は終わりの時代の教会の象徴

③生ぬるい信徒・教会の出現を神は初めからご存知

(3)私達がとるべき立場(使徒の働きと同じ、福音は変化も進化もしない)

①愛を含め、神の全ての性質(属性)を理解し語る

・未信者に「神の愛」だけでアプローチするのは聖書的にはイレギュラー

・信者に「神の愛」だけを語ることは、信仰のバランス喪失、救いの喪失に繋がる

②携挙の日までに、神が啓示してくださる全ての情報は聖書に書かれている

- ・新しい啓示は必要なく、神が語ることもない
 - ・聖書の権威を一旦離れたら、歯止めが効かなくなる
 - ・健全な聖書研究は健全な信仰を保ち、成長させる
 - ・信仰は常に自己責任、他人任せにはできない、辛く孤独で楽しい
- ③神の怒りから救われ、神と和解できたこと、十字架の身代わりの死を感謝